

# 小麦




※写真はイメージ

収穫後の残渣処理に…… 2～4袋／10a  
(連作・過作圃場に)

## 参考体系(北海道オホーツク)

パターン	1作目	2作目	3作目	4作目
①	春小麦 (4~8月)	コフナ 秋小麦 (9~8月)	コフナ てん菜 (5~11月)	馬鈴薯 (5~10月)
②	秋小麦 (9~8月)	緑肥 + コフナ 馬鈴薯 (5~10月)	小豆 (5~10月)	てん菜 (5~11月)
③	秋小麦 (9~8月)	コフナ 秋小麦 (9~8月)	てん菜 (5~11月)	馬鈴薯 (5~10月)

 印(8月末)に コフナ MP を 4袋(60kg) / 10a 全層散布

コフナ使用目的：麦稈、緑肥の分解促進

コフナ使用効果：小麦連作圃場の発病抑制、  
馬鈴薯の品質向上(いも肌)